



学院中だより

(4号)

令和3年7月26日 文責 上野由紀夫

心も体も成長が見られた1学期でした！

1学期は、コロナ禍ではありましたが、授業、行事等につきましても可能な限り行うことができ、充実した学期であったように思います。一方、多感な時期であり、同世代の異なる個性がぶつかったり、悩んだりすることもありましたが、個としても集団としても確実に成長していると思われまます。終業式でも、人の話をすばらしい姿勢で、私語もなく真剣に聴いている生徒の様子は、職員室でも話題になりました。代表生徒が「1学期がんばったこと」について発表しましたので、概要を紹介します。



1年 杉森 結菜

私が1学期頑張ったことは2つあります。1つ目は中学校生活に慣れることです。中学校は小学校と比べると大変だと実感しました。例えば、授業のスピード、学校での過ごし方が特に大変だと思いました。制服で授業を受けることもとても新鮮に感じました。2つ目は、部活動です。毎日のように朝練習があり、朝起きるのも大変でしたが頑張りました。ミニバスと部活動では、走る量や声出しの量が全然違って大変ですが、先輩たちが試合に勝つことができるよう、サポートを一生懸命頑張っていきたいと思います。

2年 本間 天尊

僕が1学期がんばったことは、英語の学習です。今回の期末テストは今までより良い点数をとることができました。期末テストの前に英語検定があり、英検対策に懸命に取り組み、授業で使ったプリントをよく見直しました。その結果、英検に合格することができました。また英検対策で身に付けた英語力で期末テストの英語の点数を上げることができました。この頑張りを2学期も活かしていきたいと思います。



3年 森下 隼勢



去年の夏、僕は右前十字損傷という大きなけがをしてしまいました。「元のようにプレーができるか」という不安な気持ちに押しつぶれそうになりました。自分にできることは「目の前のことを頑張ること」と考え、リハビリをがんばり、5月には試合に出ることができるほどの状態に戻りましたが、練習中に頭のけがをしてしまいました。けがをした瞬間は、もう試合に出られない、正直だめかと思いました。幸い入院には至らず、6月、会長杯県大会の静岡大成戦で、1年ぶりに試合に出ることができました。試合はチームとしても、個人としてもふがないものでした。こんな試合は二度としない。と心の中で誓いました。そんな僕にできることは「目の前のことを頑張ること」です。今は中体連の県大会に向けて、練習を頑張っています。正直、けがで離脱していたブランクが大きすぎてみんなとの力の差を感じ、やめてしまいたくなることもありました。しかし、バスケットを好きな気持ちと友人に支えてもらい、今も頑張れています。今後も最上級生としての自覚を持ち、「目の前のことを頑張ること」を続け、県大会を目指します。



各学年の目的に合った 充実した校外学習でした！

7月15日は「校外学習の日」でした。

1年生は、「浜松のよさを知ろう」という目的で、浜松城公園、楽器博物館を訪れました。学級担任から与えられたミッションに従い、タブレットを用いながらの充実した研修となりました。



浜松城公園で、タブレットを活用する1年生



楽器博物館にて

2年生は、「地域から学び視野を広げよう」という目的で航空自衛隊浜松広報館、浜松青少年の家に行きました。広報館では、学級担任からのミッションに沿ってタブレット片手に活動しました。浜松青少年の家では鉛筆づくりに挑戦しました。



広報館でミッションに応える



鉛筆づくりに集中

3年生は、「世界を知るために浜松への理解を深める」という目的で、グループ行動を行いました。街中ユニバーサルデザイン探し、弁天島、楽器博物館、浜松城公園など、それぞれのグループの目的に沿った研修を行いました。自分たちの力で責任を持って行動することができたようです。



グループでの事前学習



私たちは今、ここにいます



後期会長には守山ひかりさん「全学年で協力し合う行事を」

7月16日、後期生徒会長立ち会い演説会と選挙が行われました。2年生守山ひかりさんが信任され、後期生徒会長に決定しました。生徒会活動はこれより、3年生から2年生へのバトンタッチに向け、始動します。立ち会い演説会での守山ひかりさんの演説内容について概要を紹介します。

守山 ひかり

私が生徒会長に立候補した理由は2つあります。

1つ目は、自分自身を変えたいと思ったからです。私は、人前で話すことが得意ではありません。そのため、生徒会の仕事を通して、人前で堂々と話すことができるようになりたいと思っています。

2つ目は「私も学校のために力になりたい」と思ったからです。行事や委員会活動の際には、同学年の人がリーダーシップをとり、よい学校づくりのために取り組んでいます。私もその一員になりたいと思い、立候補しました。



堂々と演説する守山さん



演説会後の投票の様子

私が今期、掲げるスローガンは、「学院中学校の良いところを伸ばし、学年の垣根を越えて協力し合う」です。私がこれまで浜松学院中学校に通ってきた中で「良いな」と感じた点は「行事などに全力で取り組む」「少人数だからこそクラスの仲が良い」という2点です。

例えば、球技大会では、全力でやっている姿に少し驚きました。しかし、そういったことを全力で取り組むことが、とても素晴らしいところだと感じました。また、クラスでは一つの目標に向かってみんなで協力し合うことができます。学校生活を送る上で周りの人たちと協力し合うことは大切です。学校(生徒会)行事となると、全学年で協力し合うことが必要になります。今年度は行事の中で全学年が協力し合い、盛り上がるような企画を考えたいです。先輩たちが築いてきた明るく、楽しい学校生活のために全力を尽くします。

